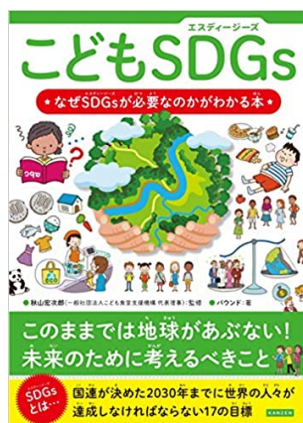


ジェンダー平等 LGBTQ+ ピンクカラー 多様性 SDGs 人権 おすすめ本リスト ジェンダー 個性 生物学的性差 ~SDG5 に取り組もう~ 性別認知 女の子らしさ フェミニズム 男の子らしさ

「#チームガールあなたの選択できたよシート」の8番に関する本がーるっちがおすすめするよ！これらの本を読んでSDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」についての理解を深めよう。
年代別におすすめ本を紹介しているから、読んでみてね。自分とは違う年代のおすすめ本も興味があればチャレンジしてみよう。



■小学生向け



★こどもSDGs なぜSDGsが必要なのかわかる本

監修：秋山 宏次郎

著：バウンド

出版社：カンゼン

まずは、SDGsについて知ってみましょう！

本書では世界の問題とそれに対する取り組みがわかりやすく書かれています。SDGs目標5を考える前に読んでおきたい初めての1冊です。世界の問題を知ったらぜひ、それがなぜおこっているのか調べてみてください。



内容紹介

「このままでは地球があぶない！未来のために考えるべきこと

未来を担うこどもたちに対し、SDGsと世界が直面する解決すべき問題、そして私たちの生活との関連をわかりやすく解説。[中略]

本書では、専門的な言葉もやさしく説明しているので、大人にもわかりやすい内容になっています。

これからの世界を引っ張っていく今のこどもたちが将来的に理想の世界で暮らせるようにするためには、今からさまざまな問題について考え、周りの人たちと話し合い、取り組んでいくことが大切です。それが大人になったときにより良い未来をつくることに繋がるのです。」(Google Books 引用)



★Red あかくてあおいクレヨンのはなし

著：マイケル・ホール

訳：上田勢子

出版社：子どもの未来社

「多様性」って知っていますか？
この絵本は多様性をクレヨンで表しています。どんなに頑張ってもできないことは、できなくてもいいんだよ。普通じゃなくてもいいんだよ。その人らしさを受け入れよう、自分らしく生きようと思える一冊です。

内容紹介

「本書はアメリカで数々の賞を受賞、アメリカ図書館協会のレインボーリスト(LGBTの青少年向け推薦図書)にも選ばれました。本当は青いクレヨンなのに赤いラベルをはられた「レッド」。多様性をクレヨンの色で表現するアイデアが抜群で年齢を超えて理解され、自分自身を発見することがいかに大切かを話しあうきっかけとなる絵本です。」(amazon 引用)



★ディアガール おんなのこたちへ

文：エイミー・クラウド・ローゼンタール/ パリス・ローゼンタール

絵：ホリー・ハタム

訳：高橋 久美子

出版社：主婦の友社



「どうして私は女の子なのだろう？」と迷ったら読みたい！
まわりの人から、「女の子なら〇〇しなさい」「女の子は〇〇しちゃダメ」と言われたとしても、自分らしくあっていいんだよ。読めばきっと自信が湧いてくる、そんな絵本です。

内容紹介

「自信をなくしたとき、なにかに迷ったとき開いてみて。きっとあなたが世界にたったひとりの愛すべき女の子だと思い出すでしょう。」(カバーそで引用)



★しっぱいなんかこわくない！

文：アンドレア・ベイティー

絵：デイヴィッド・ロバーツ

訳：かとう りつこ

出版社：絵本塾出版

女の子だって活発に動き回って、自然の中で遊んで、物作りが大好き。でも、絵本で冒険にいくのも虫取りに行くのも決まって男の子。女の子だって勇気を持って挑戦したい！

こちらは女性宇宙飛行士キャスリーン・ルビンズさんが宇宙から読み聞かせをしたことで話題になった絵本です。失敗は怖いし、失敗すると嫌になっちゃうこともあるけど、この本を読んで失敗を恐れず挑戦する心を育てて欲しいです。



内容紹介

「ロージーはせかいいちのエンジニアになりたいおんなのこ。ほかのひとには ごみとか おもえないものでも ロージーには おたからです。「ホットドッグせいぞうき」「ふうせんパンツ」「ヘビたいじヘルメット」 ロージーは これまでも たくさんの ユニークなメカを つくってきたのですが・・・」(カバーそで引用)



★こどもジェンダー

著：シオリヌ

監修：松岡 宗嗣

絵：村田 エリー

ジェンダー平等というけど、そもそもジェンダーとは？と思ったら読んでください。

日頃抱える、「どうして女の子だからって〇〇しなさいって言われるんだろう。」「性別が違うからどうなの。」とジェンダーに対しての疑問に答えを与えてくれます。「自分らしさ」を見つけて自分に誇りを持って生きていくきっかけとなる本です。

内容紹介

「オトコノコなのにプリンセスをすきなのは、へん？

オンナノコらしくって、なに？

いま、子供といっしょに考えたい！LGBTQ+、ルッキズム、ホモソーシャルのこと。

助産師/性教育 YouTuber として活躍するシオリヌが伝える、ジェンダー・セクシュアリティにまつわる 36 の質問。」(Google Books 引用)



■中学生以上向け



★82 年生まれ、キム・ジョン

著：チョ・ナムジュ

訳：斎藤 真理子

出版社：筑摩書房

内容紹介

「ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジョン。誕生から学生時代、受験、就職、結婚、育児…彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはいだかるものが浮かびあがる。女性が人生で出会う困難、差別を描き、絶大な共感から社会現象を巻き起こした話題作!韓国

で 100 万部突破!異例の大ベストセラー小説、ついに邦訳刊行。」(「BOOK」データベース引用)

ジェンダー平等実現に取り組む前に小説を通して現状を確認してみましょう。社会では女性というだけで様々な問題に直面します。

女の子だから生まれてこられなかった妹の話、当たり前のようにご飯は父と弟から先に配膳される。学校でも男子から順に給食を食べ・・・女性として生まれてきただけで、当人がどう頑張っても埋まることのない男女の差によってキム・ジョンの精神は崩壊していきます。

読後感は重いですが、自分事として是非読んでみてください。



★i

著：西 加奈子

出版社：ポプラ社

内容紹介

「アメリカ人の父と日本人の母のもとへ、養子としてやってきたアイ。内戦、テロ、地震、貧困……世界には悲しいニュースがあふれている。なのに、自分は恵まれた生活を送っている。そのことを思うと、アイはなんだか苦しくなるが、どうしたらいいかわからない。

けれど、やがてアイは、親友と出会い、愛する人と家族になり、ひとりの女性として自らの手で扉を開ける——たとえ理解できなくても、愛することはできる。世界を変えられないと

しても、想うことはできる。西加奈子の渾身の叫びに、深く心を揺さぶられる長編小説。」
(背表紙引用)



世間からマイノリティに分類される登場人物たちが自分らしく生きていく生き様から多様性とは何かを考えさせられます。
学術書は少しハードルが高いと思う方は、まず小説からジェンダー平等について考えてみてはいかがでしょうか。



★男も女もみんなフェミニストでなきゃ

著：チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ

訳：くぼた のぞみ

出版社：河出書房新社

内容紹介

「わたし自身の、フェミニストの定義は、男性であれ女性であれ、『そう、ジェンダーについては今日だって問題があるよね、だから改善しなきゃね、もっと良くしなきゃ』という人たちです。女も男も、私たち「みんな」で良くしなければいけないの

ですから。」

「ジェンダーが世界のすみずみで問題になっています。

そこでわたしは今日、それとは違った世界を夢想してプランを練りはじめたほうがいいと呼びかけたいのです。もっと対等な世界を。自分自身に誠実であることで、より幸せになる男性たちとより幸せになる女性たちの世界を。これが私たちの出発点です。私たちの娘を違うやり方で育てなければいけないのです。私たちの息子もまた違うやり方で育てなければいけないのです。」(帯引用)



こちらの本は著者のTED Conferenceでのスピーチを書籍化したものです。女性には結婚して子供を産んで専業主婦になるといった男性が女性に持つ偏見だけが取り上げられがちですが、そのような偏見を見て見ぬふりして問題意識を持たなくなった女性に対しても警鐘を鳴らす一冊です。



★おうち性教育ははじめます

一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方

著：フクチ マミ、村瀬 幸治

内容紹介

「なんでママは立っておしっこしないの?」と聞かれたら、
「知らないおじさんに髪をひっぱられた!」と子どもが泣いて
帰ってきたら、どうしますか?

おうち性教育=子どもを守るための教育ですー

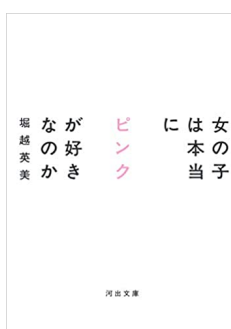
本書は、「うちにも赤ちゃんはくる?」といった突然やってくる素朴な質問への答え方から、性犯罪の被害者・加害者にならないための日々の声かけ、思春期に訪れる男女の心と体の変化まで、親子で一緒に学ぶことができます。毎日の家族の会話で子どもを守り、これからの時代を生き抜くための力を養う「おうち性教育」をはじめましょう。」(背表紙引用)



多様なジェンダーを理解することも必要ですが、そもそもセックス（生物学的男女差）について正しく学んでみませんか。

女性として女性の身体の作りを知るのはもちろん、男性側のことも知ることによって子供たちを守れることができるかも。子どもに幸せに生きてもらうために大人ができることが書かれています。

シニア・レンジャースカウト自身が読むことでも学校では教えてもらえない防犯の方法や正しく自己肯定感を育むことができますと思います。



★女の子は本当にピンクが好きなのか

著：堀越 英美

出版社：河出書房新社

内容紹介

「よもや自分の娘がピンク星人になってしまうとは」。ピンクが私たちにもたらしている「女らしさ」「男らしさ」に関する無意識の刷り込みを、国内外の事例をもとに徹底的に掘り下げる。」(背表紙引用)

女性らしさとは生まれ持ったものなのか、生活環境が影響するのか世界中の事例から確認してみましょう。

本書では、女の子の色＝ピンクとなったのはいつからかというピンクの歴史から現在のピンクカラーと呼ばれる低賃金、非正規の女性向け職種について。理系要素を取り込むようになった女子向け玩具の話等ピンクを多角的に深掘りしています。

本書のようにジェンダーの多様性が認められるようになれば、女性の将来の選択肢も増えていくのではないかと思います。





★上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください！

著：上野 千鶴子、田房 永子

出版社：大和書房

内容紹介

「日本の何が問題なのか?母娘問題、セクハラ、結婚・恋愛・子育て、団塊世代と大学闘争、性暴力などについて徹底的に語り合った7時間!」(「BOOK」データベース引用)



2019年東大入学式での祝辞で話題になった上野先生の語りから、女性の権利解放を目指すフェミニズムについて学んでみましょう。

昨今、男性を陥れよう、女性が一番という度を越した思想の人たちの影響でフェミニズムが敬遠されがちですが、本当はそうではないということを感じさせてくれます。「フェミニズムは多様だ」この言葉通り自分を自分として尊重してもらえる社会になってほしいなと思える本です。



★LGBTを読みとく-クィア・スタディーズ入門

著：森川 至貴

出版社：ちくま新書

内容紹介

「最近よく見かける「LGBT」という言葉。メディアなどでも取り上げられ、この言葉からレズビアン、ゲイの当事者を思い浮かべる人も増えている。しかし、それはセクシュアルマイノリティのほんの一握りの姿に過ぎない。バイセクシュアルやトランスジェンダーについて

はほとんど言及されず、それらの言葉ではくることができない性のかたちがあることも見逃されている。「LGBT」を手掛かりとして、多様な性のありかたを知る方法を学ぶための一冊。」(カバーそで引用)



SDG5 の関連本として最後に紹介するのがこの本です。「LGBT」や「LGBTQ+」という言葉をよく耳にしませんか。性別(ジェンダー)は決して男女に分けられるだけではありません。しかしながら、言葉は知っているけど内容まで正確に把握している人は少ないのではないのでしょうか。ニュースでさえ「LGBTの男性が・・・」と解説することがありますが、トランスジェンダーであっても、レズビアンでありゲイでありバイセクシュアルである男性など存在しません。名称だけが一人歩きしている現状では差別はなくなる。LGBTを正しく理解するために是非皆さんに読んで欲しい本です。